

【様式1】

概要書

<p>研究名</p>	<p>食肉押し成形工程の半自動金網搬送装置の開発</p>
<p>民間機関等 (相手方)の名称</p>	<p>伊藤ハムデイリー株式会社</p>
<p>研究の概要</p>	<p>伊藤ハムデイリー株式会社（以下、伊藤ハムデイリーという）は、畜産物加工食品の生産を主として行っている。ドライソーセージ群などの乾燥食肉製品を製造が出来るのは、伊藤ハムグループの中で数少ない製造工場である。今回は食品工場の生産性改善を目的に手作業で行っている乾燥食肉製品製造ラインの押し成形工程を半自動化できる装置を開発し改善に寄与するものである。</p> <p>現在、乾燥食肉製品のネタを押し成形機から金網上に伸ばす作業は作業員2人が両側から金網を持ち移動しながら行っている。ネタはやわらかく、作業員が外観を確認しながら丁寧に金網上に伸ばしていかなくてはならず、歩くスピードが変わると製品の太さが変わるなどの熟練が必要になる。また成形後の金網は台車の棚に順番に格納していかなければならず上段側は180cm程度の高さに製品が載った約10kgの金網が傾かないように慎重に格納しなければならない。</p> <p>そこで本共同研究では、成形の際、金網移動の速度のばらつきを抑える半自動金網搬送機と、台車への格納を一人で出来るように昇降機付きの半自動格納機を開発を行う。なお、押し製造ラインの生産設備は全て専用設備であり工程もその場所にしかないため装置の確認はダミーの生産工程を作製し共同で動作確認をもって評価を行うものとする。</p>